

**学校名** 越谷市立平方小学校  
**所在地** 越谷市平方2784番地  
**電話** 048-976-1586

## 1 本校の概要

本校は昭和50年に開校し、児童数434名、学級数16（特別支援学級2を含む）の中規模校である。越谷市の北部の田園地帯に位置しており、のどかな環境にある。本校は、「すすんで学ぶ子・たすけ合う子・けんこうな子」の学校教育目標の下、児童の心がけの言葉として「認め合い・励まし合い・磨き合い」の「三愛」を掲げている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

### (2) 実践の概要

#### ア 読書タイム

業前の時間、毎日8時35分～45分までの10分間、読書の時間“わくわく読書”を設けている。児童は、図書館で借りてきた本や学級文庫、家から持ってきた本を読んでいる。毎日、読書をする時間を設けて読書を習慣化するようにしている。

#### イ 読書月間

10月を読書月間とし、高学年が低学年に読み聞かせをしたり、中学年同士で読み合う異学年の縦割り読書を行ったりしている。



#### ウ めあて・読書貯金・表彰

児童全員が本をどれくらい読むか、めあてを決めている。低学年は1週間で7冊、中学年は5冊、高学年は2冊読むことを推奨している。1か月それを達成できた児童には「たくさん読んだで賞」を出している。

また、高学年は読書貯金をし、読書した冊数やページ数を記入している。毎月の目標冊数を決め、「めざせ5000ページ!」の合い言葉で読書を行っている。また、5000ページを達成した児童には賞状を渡している。

毎月の学年ごとのベストリーダー（貸出数1位）

や学期ごとの利用冊数学年3位までの児童には、三愛賞という校長賞を渡している。

#### エ 課題図書のカラス貸出

クラスでは読書感想文コンクールの課題図書を配付し、読破することをすすめている。また、読み終わった児童がどれくらいいるか各クラスでチェックし、全員が読むように推進している。

#### オ 図書ゴールドカード

本校では図書の貸出は1度に3冊行っているが、利用冊数の多かった児童に対して、特別な貸出用のカードを活用することで5冊までの貸出を行い、さらに読書に親しめるようにしている。

#### カ 図書館通信『図書館メール』の発行

学級担任向けに図書館利用に関して図書館通信『図書館メール』を出している。図書館の活用について連絡を行い、クラスでの利用や貸出数などを報告し、児童に指導する指針としている。

また、毎月の全校児童個々の利用冊数を配布して、担任の読書活動指導の目安となるようにしている。

#### キ 読書郵便

児童それぞれが、お勧めの図書を紹介し合う「読書郵便」を行っている。低学年は、クラス単位で担任が書き方を指導して取り組んでいる。クラスや学年間ばかりでなく、縦割り班や登校班で一緒に異学年の友だちにも郵便を出して交流する姿が見られる。

## 3 成果と今後の課題

- (1) 貸出数は増えている。特に低学年が休み時間に図書館に来館している。高学年は、国語や社会、総合的な学習の時間での図書館活用が多く、学級単位での利用、貸出もある。ただ、高学年は行事が多く、休み時間の図書館利用がなかなか時間的に難しいことが課題である。
- (2) 図書館の本の貸出に関しては、図書委員や学級担任の働きかけなどが大切である。働きかけの工夫を図っていきたい。
- (3) 読書の量は伸びてきているがジャンルの偏りなどがあるので、様々な本に親しめるよう、違ったジャンルを勧め、読書の質の向上を図っていきたい。